

令和5年度 技術・家庭科（家庭分野）《第1学年》評価計画

学期	観点		評価資料	観点別評価の「B」を達成する基準	観点別評価に占める割合
1	【知】	A	授業観察、プリント	住まいに関する知識を得て活用することができる。	50%
		B	定期考査	範囲内の内容を50%～79%理解している。	50%
	【思】	A	ノート・ワーク・プリント等	住まいに関する問題を解決することができる。	40%
		B	作業・作品	作品作りに役立つ発想ができ、製作に集中できる。	30%
		C	定期考査	範囲内の内容を50%～79%理解している。	30%
	【態】	A	ノート・ワーク・プリント等	期限を守り課題を提出できる。住まいに関心をもっている。	50%
B		作品・作業観察	丁寧で安全な作業ができる。	50%	
2	【知】	A	授業観察、プリント	住まいに関する知識を得て活用することができる。	50%
		B	定期考査	範囲内の内容を50%～79%理解している。	50%
	【思】	A	ノート・ワーク・プリント等	住まいに関する問題を解決することができる。	40%
		B	作業・作品	作品作りに役立つ発想ができ、製作に集中できる。	30%
		C	定期考査	範囲内の内容を50%～79%理解している。	30%
	【態】	A	ノート・プリント等提出物	期限を守り課題を提出できる。住まいに関心をもっている。	50%
B		作品・作業観察	丁寧で安全な作業ができる。	50%	
3	【知】	A	授業観察、プリント	住まいに関する知識を得て活用することができる。	50%
		B	定期考査	範囲内の内容を50%～79%理解している。	50%
	【思】	A	ノート・ワーク・プリント等	住まいに関する問題を解決することができる。	50%
		B	作業・作品	作品作りに役立つ発想ができ、製作に集中できる。	30%
		C	定期考査	範囲内の内容を50%～79%理解している。	20%
	【態】	A	ノート・プリント等提出物	期限を守り課題を提出できる。住まいに関心をもっている。	50%
B		作品・作業観察	丁寧で安全な作業ができる。	50%	